地域のみなさまへ

働きづらさを抱える人々が、「働く」ことを通して幸せを実感でき、また、より多くの人が身近な場所で働き活躍できる持続可能な地域をともにつくりませんか。市及び福祉の専門家が、働きづらさを抱える人が能力を活かして働くための環境づくりを一緒に考え、フォローします。

本事業の趣旨に賛同し協働いただけるみなさまからのご連絡をお待ちしています。

発行：令和7年4月
発行者：長久手市障がい者自立支援協議会

就労支援モデル開発プロジェクトチーム事務局
長久手市役所福祉課・地域共生推進課
長久手市社会福祉協議会・長久手市障がい者基幹相談支援センター

問合せ

TEL 0561-56-0614　FAX 0561-63-2940
メール　fukushi@nagakute.aichi.jp

協力：金城学院大学人間科学部コミュニティ福祉学科　准教授　橋川 健祐
令和6年度モデル事業協力事業者：（合同）AYAKA ASSOCIATION まちの台所「風と虹」、（一社）長久手アグサポ倶楽部、（株）トビラmemene balloon

「働く」を通して一歩を踏み出しやすいまちづくり。

長久手市民
約61,380人
（R7.4.1）

ひきこもり状態の人
約820人

働きづらさを抱える人
約490人

働きづらさを抱える長久手市民の数
125人に1人

国の調査によると、心身の不調のほかに、就職活動でのつまづき、退職、職場になじめなかったことを、ひきこもり状態になったことの主な理由として挙げている人が少なくありません。(※1)

就労の困難さが、ひきこもり、二次障がい(※2)の発生、長期的には生活困窮・社会的孤立などにつながる恐れがあるにも関わらず、働きづらさを抱える人が、一歩踏み出す際の選択肢は十分ではありません。また、悩んでいても相談することは非常にハードルが高く、支援機関が把握することが困難です。

そこで、長久手市では、既存の相談窓口や支援制度とは異なる、多様な働きづらさを抱える人の就労を支える新たな仕組みが必要であると考えました。

※1　こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）による。
※2　もともと持っている発達障がいや身体障がいなどの一次障がいが原因で、後天的に生じる精神的・身体的な問題のこと。

○全国で、15～64歳の年齢層の2%余りにあたる146万人が、ひきこもり状態であると推計
～こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）／令和5年3月内閣府

○ひきこもり状態にある人の約6割は「働きたい」と思っている　～ひきこもり白書2021

「一歩」のきっかけを支えたみなさん

働きづらさを抱える人が、身近な場所で短時間、短期間から働いてみることを通して社会参加のきっかけをつくることを目的とした就労支援モデル開発プロジェクトを立ち上げ、令和６年度に３名が市内の協力事業者で働き、一歩を踏み出しました。将来的には、事業者と行政と協働による就労支援プラットフォームをつくり、働きづらさを抱える人が多様に働ける社会に向けて取組を進めます。

「一歩」を踏み出したみなさん

(合同)AYAKA ASSOCIATION　まちの台所「風と虹」／飲食業

人とよく話せるようになり次のチャレンジへ！

関根さん・田中さん

彼が、デザート作りが得意であることを知り、お店でシュークリームを作るイベントを実施しました。普段は１人で作っているけど、多くの人と一緒につくる楽しさを体感してもらえました。

心がけたこと

本人のペースに合わせて、話をし、お互いの理解を深めていきました。話をする中で、仕事の量や内容も工夫していきました。

働いた Kさんより

新しいことにチャレンジするときには、毎回嫌じゃないか聞いてくれて、安心して働くことができ、人とよく話せるようになりました。バイトの面接が苦手だったので、事前に自分のことを知っている場所で働くことができたこともよかったです。バイトへのハードルも下がりました。

(一社)長久手アグサポ倶楽部／農業

自分に合った仕事に出会えました

成瀬さん

Tさんが作業途中にスマートフォンで田園風景の写真を撮っていたのが印象的でした。働く場所として新鮮だったのだろうと思います。

心がけたこと

体調面で無理しないようにすることと、作業がうまくできなくても気にすることがないように、少しずつ、ゆっくりと進めました。次に向けた一歩になれればいいな、という気持ちで接しました。

働いた Tさんより

体を動かす仕事は自分に合っているようで、農業をもっとやってみたいという気持ちになり、自宅でも、プランターで野菜づくりに挑戦しています。一緒に働く人が「恐くないから大丈夫」と思えるようになってからは楽しめました。ステップアップに向け、この体験はとても効果的だと思います。

(株)トビラmemene balloon／バルーン制作

もっと働けるかも、と自信につながりました

長崎さん

とても手先が器用な方でした。バルーン制作もどんどんコツをつかみ、プレゼント用のバルーンのデザインを一緒に考え、サンプルづくりから制作まで取り組んでいただきました。

心がけたこと

はじめは、とても緊張した様子でしたが、雑談をすることで徐々にほぐれていきました。とても真面目で、仕事もどんどん覚えてくださいました。

働いた Nさんより

はじめは1週間に1時間でも体力的に厳しいと思いましたが、実際は短く感じ、もう少し長く働くことができるかもと感じました。まずは働いてみて、その先の働き方を考え、選択できることがよいと思います。市役所の方などのフォローもあり安心して働くことができました。

３名と事業者のみなさんは、今でも関わりが続いています！